

会議名	令和6年度板橋区A I P推進協議会
開催日時	令和7年1月9日（木曜日）午前10時から正午まで
開催場所	板橋区役所 南館4階 災害対策室
出席者	<p>[委員15人]（敬称略）</p> <p>和気会長（明治学院大学） 鈴木陽一副会長（板橋区医師会） 村山委員（東京都健康長寿医療センター） 小林委員（板橋区歯科医師会） 藤原委員（板橋区柔道整復師会） 角田委員（板橋区介護サービス全事業所連絡会） 坂本委員（板橋区社会福祉法人施設等連絡会） 鈴木優子委員（板橋区訪問看護ステーション会） 鈴木穰委員（板橋区舟渡地域包括支援センター） 高野委員（板橋区民生・児童委員協議会） 土田委員（板橋区シニアクラブ連合会） 相田委員（板橋区社会福祉協議会） 廣瀬委員（ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし） 辻村委員（公募委員） 水野委員（板橋区健康生きがい部長）</p> <p>[行政関係職員9人]</p> <p>長寿社会推進課長、介護保険課長、国保年金課長、後期高齢医療制度課長、健康推進課長、赤塚健康福祉センター所長、おとしより保健福祉センター所長、赤塚福祉課長、住宅政策課長</p> <p>[事務局11人]</p> <p>おとしより保健福祉センター管理係長、地域ケア推進係長、介護予防係長、介護普及係長、認知症施策推進係長、特別援護係長、医療介護連携担当係長、介護予防係副係長、地域ケア推進係2人、介護保険課管理相談係1人</p>
会議の公開（傍聴）	公開（傍聴可）
傍聴者数	0人
次第	<p>令和6年度板橋区A I P推進協議会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 板橋区健康生きがい部長挨拶 2 板橋区版A I Pの現状と今後の取組について（説明・協議） <ol style="list-style-type: none"> （1）本年度の取組状況の報告について （2）地域ケア政策調整会議で検討された地域課題の検討結果について 3 次年度以降の板橋区A I P推進協議会について

<p>配布資料</p>	<p>【資料1】板橋区A I P推進協議会設置要綱 【資料2】板橋区の各地域ケア会議について 【資料3】事業概要説明 【資料4】板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画 2026 事業一覧 【資料5】重点事業進捗管理シート 【資料6】一般事業進捗管理シート 【資料7】令和6年度地域ケア政策調整会議 高齢者の居場所作業部会報告書（概要版） 【資料8】令和6年度地域ケア政策調整会議 高齢者の居場所作業部会報告書 【資料9】次年度以降の板橋区A I P推進協議会について 【資料10】委員名簿</p>
<p>議事内容</p>	<p>1 板橋区健康生きがい部長挨拶</p> <p>2 板橋区版A I Pの現状と今後の取組について（説明・協議） 資料1・資料2を用いて、板橋区A I P推進協議会の概要をおとしより保健福祉センター所長から説明した。 （主な意見） ・資料2の裏面の図に、第1層協議体も記載していただきたい。</p> <p>（1）本年度の取組状況の報告について 資料3～資料6を用いて、板橋区版A I Pの構築に向けた本年度の取組状況の概要をおとしより保健福祉センター所長から説明し、協議した。 （主な意見） ・医療・介護・障がい福祉連携マップシステムについて、インフォーマルな資源の情報を追加し、データベースとして閲覧できるようにしていただきたい。 ・介護施設の整備について、生活圏域のみに固執しない柔軟な考えで、時代に沿った整備を検討していただきたい。 ・見守り地域づくり協定について、高齢者は家の近くで買い物することも多いため、地域に密着しているコンビニエンスストア等との連携も視野に入れていただきたい。 ・民生委員と地域が繋がるための周知、啓発を区で一層進めていただきたい。 ・地域に気になるお年寄りを見つけた際に、どこに相談したら良いかわからないので、お示しいただきたい。</p> <p>（2）地域ケア政策調整会議で検討された地域課題の検討結果について 資料7・資料8を用いて、今年度の地域ケア政策調整会議で検討された地域課題の検討結果をおとしより保健福祉センター所長から説明し</p>

	<p>た。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護・障がい福祉連携マップシステムについて、スマートフォンを使うことができない高齢者に情報が入りにくくならないように、紙媒体による周知も続けていただきたい。また、どの程度システムが活用されているのか、しっかり検証していただきたい。 ・今、スマートフォンを使える人も、高齢になり、認知症になると、スマートフォンを使用できなくなる可能性がある。デジタルを活用しつつ、何を人に任せ、何を機械に任せるのか吟味しながら、取組を進めていただきたい。 ・今の高齢者は、地域課題を捉えることが難しいため、若い頃から地域課題を捉えられるような学習を行政に取り組んでいただきたい。 ・地域への帰属意識が薄くなっていると感じている。地域愛を持ち、地域で活躍しようと思えるように、行政として取組を検討していただきたい。 ・生活支援体制整備事業について、原資の用途に制限があるが、時代に沿った柔軟な使い方ができるように、検討していただきたい。 ・医療介護の専門職は、高齢者が介護予防のために通いの場に参加するという視点を持っていることが多いので、楽しむために参加するという視点で伝える大切さを研修などで伝えていただきたい。 <p>3 次年度以降の板橋区A I P推進協議会について</p> <p>資料9を用いて、次年度以降の板橋区A I P推進協議会についての概要をおとしより保健福祉センター所長から説明した。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区として全体を統括し、次の方向性を決めていく場を設け、進めていただきたい。
<p>所管課</p>	<p>健康生きがい部おとしより保健福祉センター地域ケア推進係</p> <p>電話：5970-1114</p>